

# 高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

てん ねん き ねん ぶつ

天然記念物

## かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】新見市哲多町花木

【時代】不明

【指定年月日】昭和41年6月1日

【所有】なし

【見学】可



ことぶきのり (あしつき)

かんけい しまち  
関係する市町

コトブキノリ (アシツキ)

にいみ し  
新見市



## てんねんきねんぶつ この天然記念物について

この水藻は、大椿寺の北面直下の日当たりの良い谷川にあります。ネンジュモ科の淡水性ラン藻類であり、地元では「コトブキノリ」、「コトブキタケ」と呼称してきましたが、岡山大学の調査により「アシツキ」と判明しました。「アシツキ」とは、植物の葎の根元に付着していたことに由来しています。1～4月上旬にかけて繁殖します。

この水藻については、『阿哲郡誌』によると、大椿寺谷川に「寿」と称して、大椿寺開山の玄賓僧都が残したという伝説が残っています。